

農学委員会・食料科学委員会合同 IUSS 分科会（第21期・第3回）議事要旨

1. 日 時：平成21年11月13日（金）10:00-12:00
2. 場 所：日本学術会議5階 5-A（2）会議室
3. 出席者：木村真人（委員長）、犬伏和之（幹事）、安藤 豊、小崎 隆、佐藤洋平、鈴木雅一、陽 捷行

4. 議 事：

- （1）前回分科会の議事要旨の承認について
修正なく承認した

- （2）IUSS ホームページの開設に伴って

1) IUSS のホームページが、日本土壌肥料学会の支援により開設されたことが報告され、ホームページの名称を、「IUSS 国際土壌科学会議」に決定した。

2) 1 ページ目の関連の学協会リスト中に、日本熱帯農業学会、熱帯生態学会、を加えることとした。

3) 関連の学協会のホームページから、本ホームページへのリンクを、分科会委員から関連の深い学協会に依頼をすることとした。リンクは、関連学協会との双方向リンクとする。

- 4) ホームページに掲載する内容

ホームページに掲載する内容は、a) IUSS の各種活動、b) IUSS に関連する学協会の紹介、c) アジアを中心とする各種の IUSS 関連国際的組織の紹介、d) 上記学協会・組織の活動に関連するニュース、である。

- 5) ホームページを介しての IUSS への発信

以上の議論は、国内への IUSS 関連情報の発信に関してであった。

ホームページを介して、わが国の IUSS 関連の活動紹介について議論した。

- ・英文のホームページを開設する。
- ・その中では、関連学協会を紹介するとともに、関連学協会とリンクする。
- ・EFAFS、PAWEES、MARCO 等の活動を紹介する。

- （3）第9回 ESAFS2009 の報告

代表派遣された安藤委員より、第9回 ESAFS2009 の概要が資料を基に報告された。

- 1) 参加者は、約 25 カ国、450 名。日本からの参加者は約 50 名。
- 2) 8 つのシンポジウムが行われ、そのうち 3 つのシンポジウムは IUSS の Commission との共催で実施され、それら IUSS との共催で、犬伏委員、小崎委員、安藤委員が Chair を勤めた。

- （4）その他

1) 2010年国際土壌科学会議 (WCSS) への海外派遣候補者について

来年8月 Brisbane で開催される国際土壌科学会議 (WCSS) への、分科会からの海外派遣候補者について議論した。

(代表派遣者は、学術会議会員、連携会員、特任連携会員に限られる。各分科会からの派遣人数は、原則1名、最大でも2名。)

派遣候補者について議論した。

- ・立場: IUSS 分科会 (わが国における IUSS の責任組織) を代表して Council Meeting に出席し、各決議に日本の立場を表明する。
- ・わが国における IUSS 活動の中心人物として、海外からも「顔」の見える人物が好ましく、今後長きにわたって継続して IUSS に関連する諸活動に参画できる候補者が望まれる。
- ・最低、2010、2014年の WCSS で日本を代表する候補者。
- ・IUSS 分野での若手育成の必要性。

近々学術会議事務局より、2010年度代表派遣候補者推薦の依頼が予定されている。しかし、今回の会議への欠席者は多く、今回の議論を委員長木村が要約し、早々に各委員に議論内容の周知を図るとともに、上記の議論を踏まえた候補者を提案することとした。

3) 低 pH 領域における植物と土壌の相互作用に関する国際会議 (PSIL pH) の Steering Committee のメンバーに犬伏委員が加わったことが報告された。なお、次回は 2012 年インドのバンガロールで開催。

以上